

【仙台空港】FAST TRAVEL 取り組み①

(はじめに) 地方空港の特性・課題を踏まえたゴールイメージを設定

1. 「待たない」 空港

2. 「街 (目的地) までの FAST TRAVEL」

3. 「地域の方々にも利用しやすい」 空港

【仙台空港】FAST TRAVEL 取り組み②

(主な課題と対応策) 課題レベル高いが身の丈に合った対応策を検討

	主な課題	仙台での検討の方向性
1	スペースがない (空間面)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進機器を入れる空間の捻出 ・ 先進機器を入れずに済む工夫 ..の両面で検討
2	フル稼働しない (費用面)	→ 「機器を入れない」 選択肢も。 (国内線保安検査場では新方式導入)
3	空港アクセスの便が少ない	高頻度化が望ましいが多様化も推進 仙台空港ではアクセスバスが復活

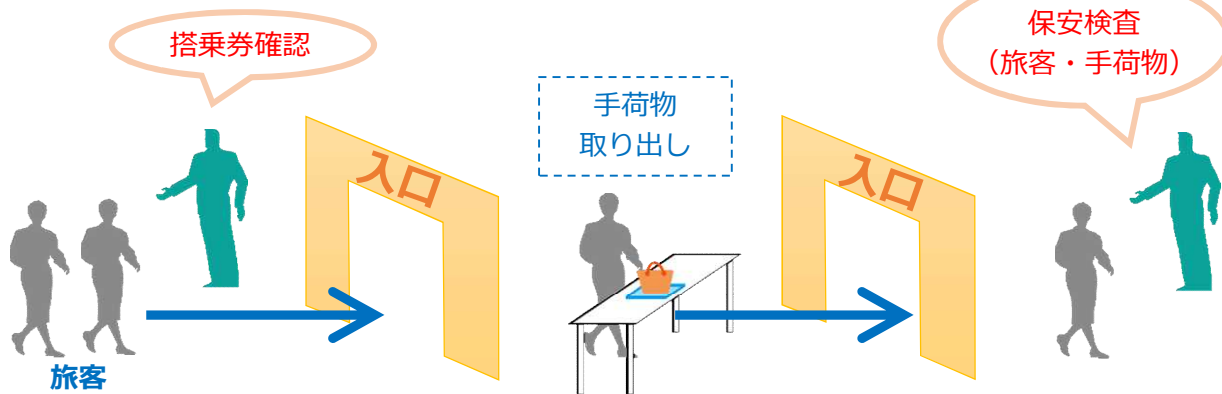


【仙台空港】FAST TRAVEL 取り組み③

(ご参考)

■ 国内線保安検査場改修 (2018年4月)

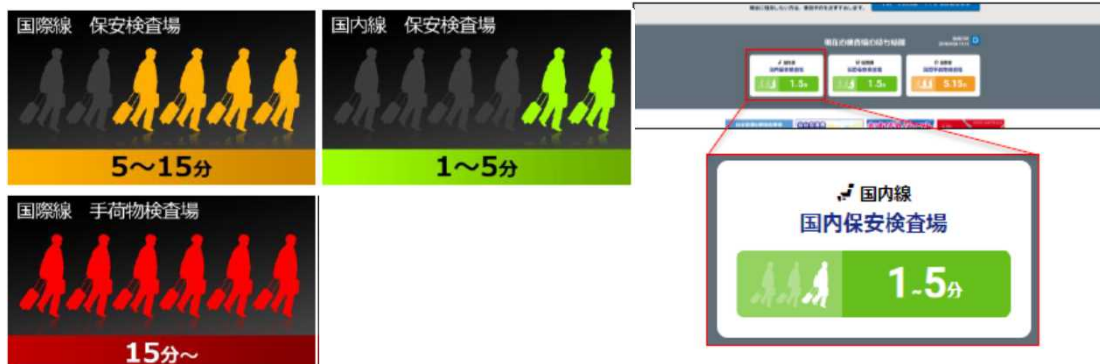
- ～検査手順を
①搭乗券確認、
②保安検査
..の2段階に分けることで
待ち時間を短縮



※待ち列が整理され、監視カメラの設置や待ち時間案内システムの導入も容易に

■ 保安検査場・受託手荷物検査場 待ち時間案内表示 (2018年4月)

～旅客ターミナルビル内モニター(7箇所)、HPに表示



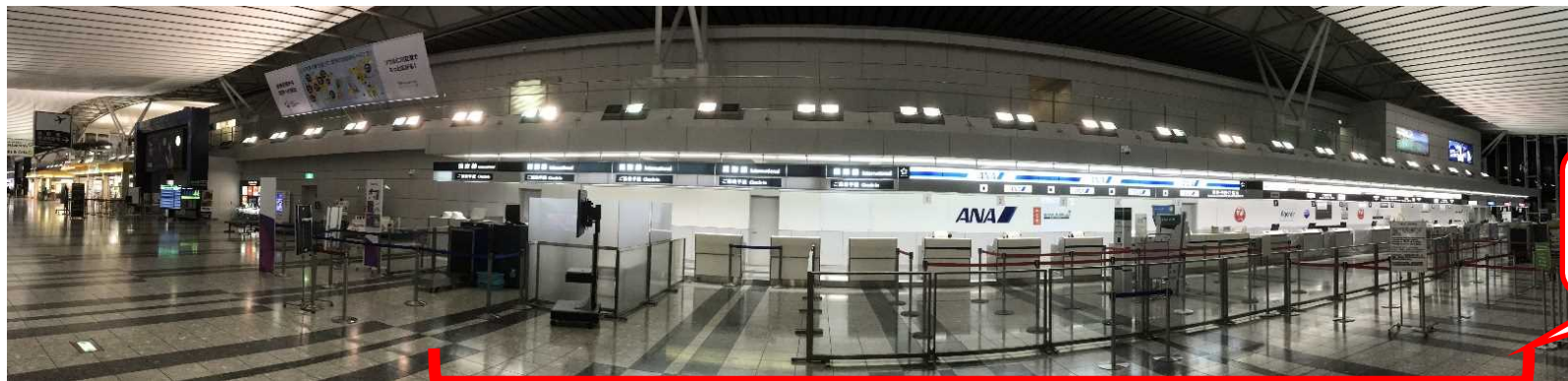
【仙台空港】FAST TRAVEL 取り組み④

(今後の取り組み)

横断目標 (再掲)

- ◆ 出発動線：チェックイン着列から出国審査着列まで15分以内
- ◆ 到着動線：降機から到着ロビーまで30分以内 (一部除く)

■ 国際線チェックイン・手荷物預けカウンター改修



カウンターの
共用化を検討中

■ 館内デジタルサイネージ拡充 (下は既存例)

